

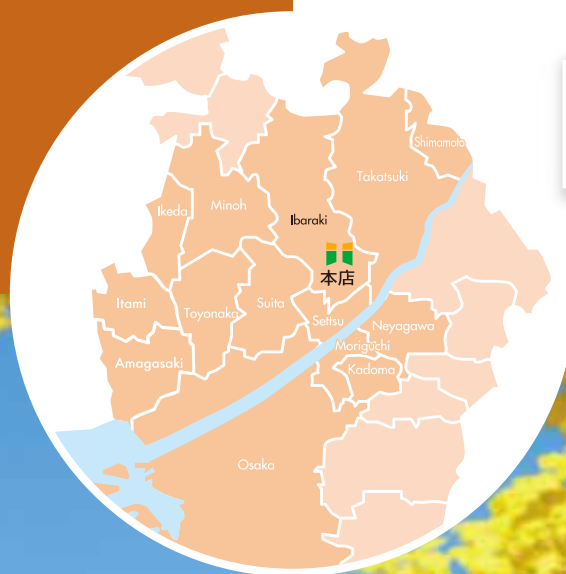
The Kita Osaka Shinkin Bank

北おおさか信用金庫

景況レポート

2021年7～9月期 **No.31**

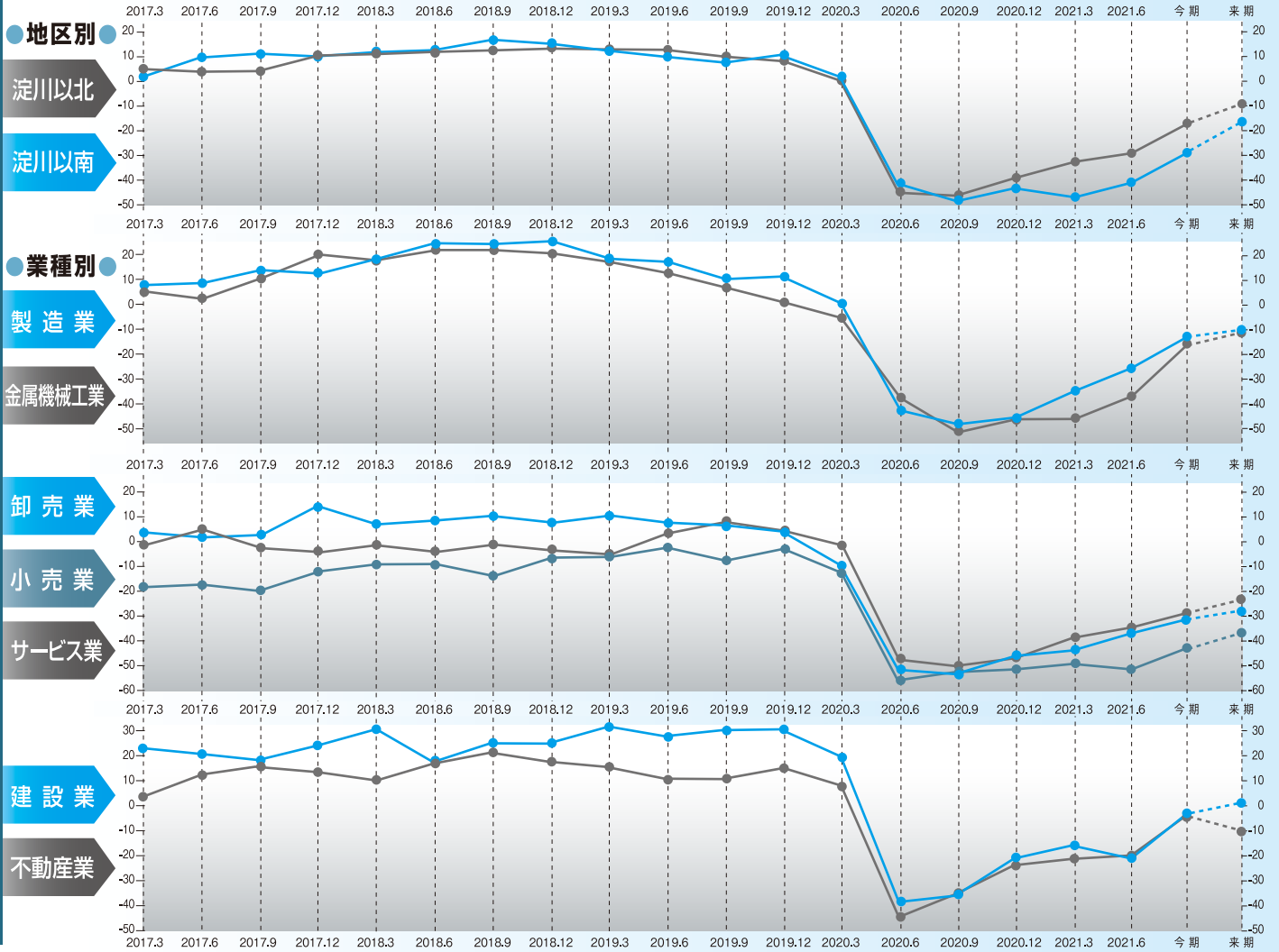
Business Condition Report



この街の未来をひらく

北おおさか信用金庫





INDEX

- 地区別・業種別 業況判断DII来期予想までの推移・目次……………1
- 調査概要……………2
- 全業種総合……………3・4
- 製造業……………5
- 金属機械工業……………6
- 卸売業……………7
- 小売業……………8
- サービス業……………9
- 建設業……………10
- 不動産業……………11
- 特別調査「2025年大阪・関西万博に向けて」……………12・13・14

〈調査概要〉 調査対象……………地元企業1,200社(有効回答1,193社)
 調査時期……………2021年9月
 調査対象期間…2021年7月～9月期 当期の実績(2021年4月～6月期との比較)
 2021年10月～12月期 来期の見通し(2021年7月～9月期との比較)
 調査方法……………当金庫職員による調査表に基づく聞き取り調査
 分析方法……………DI(ディフュージョン・インデックス)を中心とした分析

●DIとは

各調査項目について「良い」「増加」「上昇」「過剰」「楽・容易」の回答割合から、「悪い」「減少」「低下」「不足」「苦しい・難しい」の回答割合を差引いた数値です(普通、変わらず、適正は除外しております)。

(例)良い10%、やや良い20%、普通30%、やや悪い15%、悪い25%の場合

①良い = 良い10% + やや良い20% = 30%

②悪い = 悪い25% + やや悪い15% = 40%

DI = ① - ② = ▲10

●調査内容と注意点

- (1)売上額、収益、受注残高、販売・仕入価格、在庫、資金繰り、残業時間は前期と比べた当期の状況(来期見通しは当期と比べた来期予想)です。
- (2)業況、人手、借入の難易度は、前期比ではなく、その時点での状況です。

●各判断DIが示す内容

	(プラス)	(マイナス)
業 況	現状 「良い」	現状 「悪い」
売上額・収益	前期比「増加」	前期比「減少」
受注残高・残業時間	前期比「増加」	前期比「減少」
販売価格・仕入価格	前期比「価格上昇」	前期比「価格下降」
(原材料)在庫	前期比「過剰」	前期比「不足」
資金繰り	前期比「楽」	前期比「苦しい」
人 手	現状 「過剰」	現状 「不足」
借入の難易度	現状 「容易」	現状 「難しい」

※DIプラスが良いとは限りません(例:仕入価格判断DIプラスは前期比価格上昇)

■対象企業の業種・従業員別構成

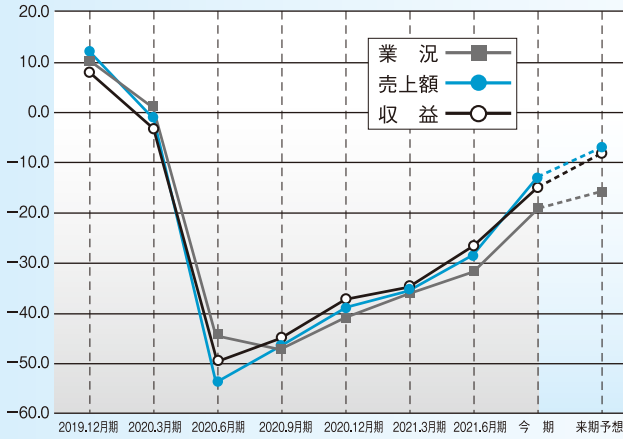
	4名以下	5～9名	10～19名	20～29名	30～49名	50～99名	100名以上	合 計(構成比)	
製 造 業	35	49	48	22	21	14	11	200	16.8%
金属機械工業	56	59	34	21	14	7	6	197	16.5%
卸 売 業	49	27	22	14	5	1	2	120	10.1%
小 売 業	87	23	18	6	3	8	5	150	12.6%
サービス業	61	36	32	16	24	21	8	198	16.6%
建 設 業	60	65	47	17	3	5	1	198	16.6%
不 動 産 業	80	36	8	2	2	1	1	130	10.9%
合 計	428	295	209	98	72	57	34	1,193	100.0%
(構成比)	35.9%	24.7%	17.5%	8.2%	6.0%	4.8%	2.8%	100.0%	—

*製造業の構成比が他5業種と比較して大きいため、製造業のうち金属機械工業を1業種として分割しております。

●調査地域

淀川以北:島本町、高槻市、茨木市、吹田市、摂津市、豊中市、箕面市、池田市、伊丹市、尼崎市、東淀川区、淀川区、西淀川区 他 淀川以北
 淀川以南:寝屋川市、門真市、守口市、北区、西区、中央区、城東区、旭区、住吉区、此花区、福島区 他 淀川以南

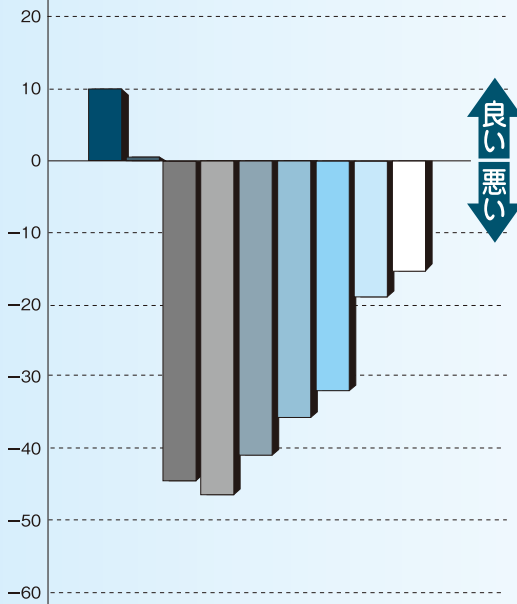
■ 業況・売上額・収益



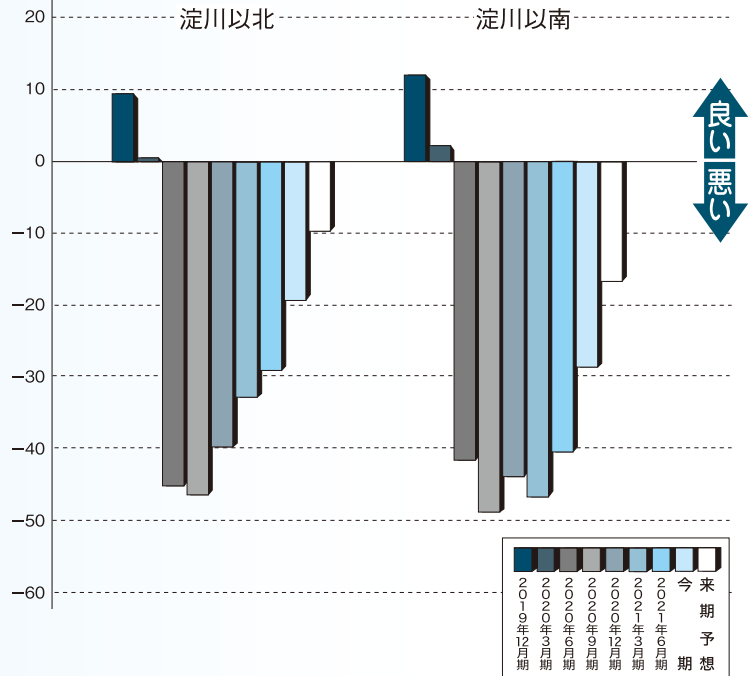
■ 全業種総合 DI値の推移

	2019.12月期	2020.3月期	2020.6月期	2020.9月期	2020.12月期	2021.3月期	2021.6月期	今期	来期予想
業況	10.0	0.7	-44.6	-46.7	-40.1	-35.5	-31.7	-18.9	-15.6
売上額	12.0	-1.6	-53.7	-46.1	-38.0	-35.2	-28.1	-12.9	-7.5
受注残	14.1	1.1	-46.8	-44.9	-38.0	-34.5	-23.3	-3.4	-0.7
施工高	30.5	11.5	-33.8	-26.5	-22.0	-19.0	-17.5	-2.5	4.0
収益	7.9	-2.8	-49.6	-44.1	-37.1	-34.7	-26.5	-14.5	-8.3
販売価格	7.4	3.3	-8.0	-6.3	-5.8	-6.2	-3.0	4.7	5.2
原材料・仕入価格	14.1	9.3	0.8	1.4	1.0	2.0	12.6	29.6	26.3
在庫	-0.5	-1.5	-3.7	-4.4	-4.4	-3.5	-4.1	-4.8	-6.1
資金繰り	0.0	-3.7	-20.3	-12.6	-10.5	-8.1	-5.0	-0.8	-0.6
従業員残業時間	6.1	2.5	-26.4	-22.6	-17.5	-14.0	-13.7	4.3	4.5
従業員人手	-20.2	-17.6	-6.2	-2.9	-5.8	-6.2	-4.9	-8.0	-8.5
設備状況	-7.5	4.4	-4.8	-3.8	-3.9	-4.1	-4.1	-4.6	-4.7

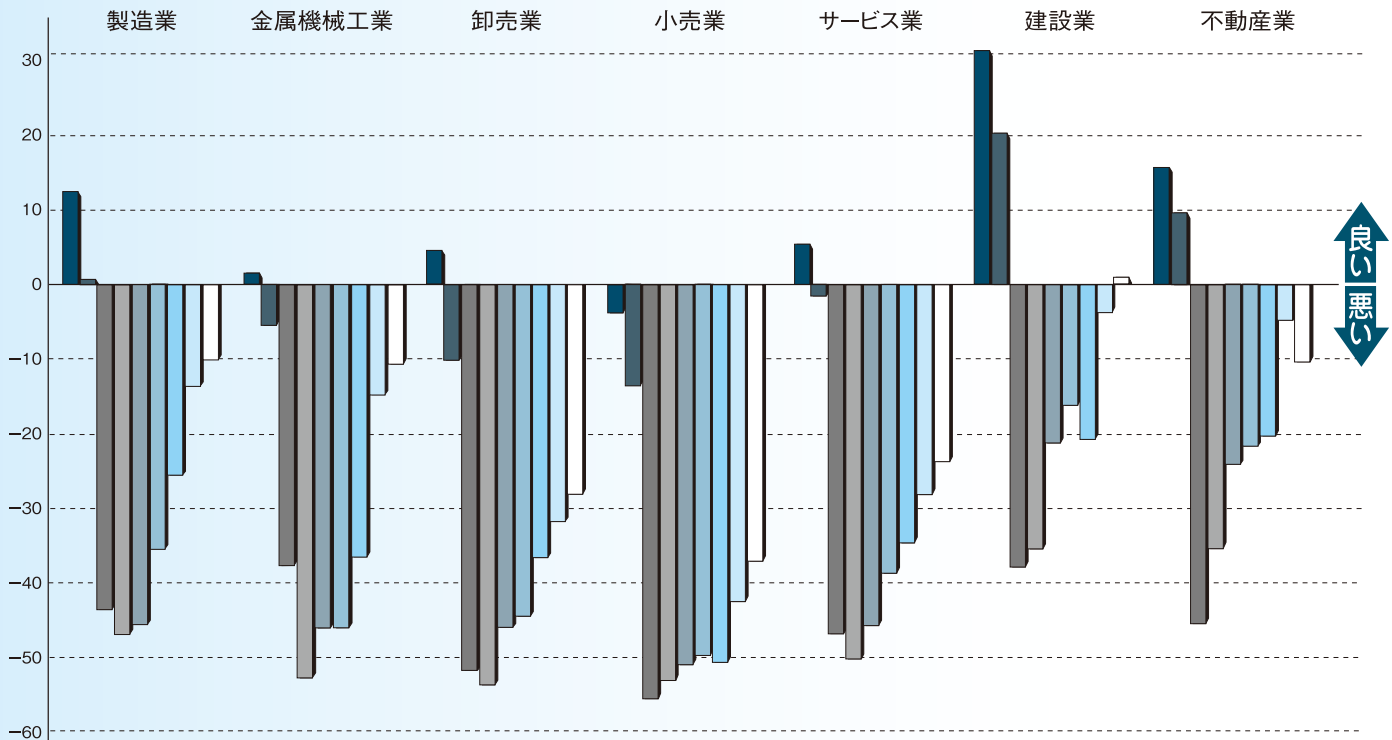
■ 全体業況判断DI



■ 地区別業況判断DI



■ 業種別業況判断DI



業況について

2021年7月～9月期 ～業況は前期比12.8ポイント増の大幅な改善～

2021年7月～9月期、全業種の業況判断(DI)は▲18.9(前期比12.8ポイント増)と大幅な改善。

来期予想の業況判断(▲15.6)は、水準としては依然として厳しい状況が続くものの、改善の見通し。

《業種別》

一 製造業、金属機械工業、建設業、不動産業は大幅改善、その他業種もそれぞれ改善一

業種別にみると、「製造業」▲13.5(前期比11.5ポイント増)、「金属機械工業」▲14.2(同22.4ポイント増)、「建設業」は▲3.6(同16.9ポイント増)、「不動産業」▲4.7(同15.3ポイント増)はそれぞれ大幅な改善。「卸売業」▲31.7(同4.9ポイント増)、「サービス業」▲27.9(同6.6ポイント増)、「小売業」は▲42.7(同8.6ポイント増)とそれぞれ改善した。

～淀川以北地域、淀川以南地域ともに大幅に改善～

地域別にみると、淀川以北地域の業況判断(DI)は▲16.5(前期比12.5ポイント増)、淀川以南地域は▲26.5(同14.4ポイント増)とともに大幅に改善。淀川以北地域の業種別では、金属機械工業(同▲36.7→同▲12.6)でかなり大幅に改善、製造業(前期▲19.6→今期▲6.1)、建設業(同▲18.4→同0.0)、不動産業(同▲17.2→同▲6.2)で大幅改善したほか、卸売業(同▲33.8→同▲31.7)、サービス業(同▲32.0→同▲23.6)、小売業(同▲47.9→同▲42.2)で改善した。淀川以南地域の業種別では、金属機械工業(同▲36.8→同▲15.8)、不動産業(同▲29.0→0.0)はかなり大幅に改善。卸売業(同▲43.2→同▲29.7)、建設業(同▲29.7→同▲18.4)、小売業(同▲62.9→同▲45.5)、サービス業(同▲43.9→同▲22.0)は大幅に改善し、製造業(同▲40.4→同▲34.6)で改善した。

来期の業況判断予想は、淀川以北地域(▲9.6)、淀川以南地域(▲16.4)ともに改善の見通し。

売上額・収益の動き

～売上額は前期比15.2ポイント増、収益は前期比12.0ポイント増、ともに大幅な改善～

売上額判断(DI)は▲12.9(前期比15.2ポイント増)、収益判断(DI)は▲14.5(同12.0ポイント増)と、ともに大幅な改善。

来期予想の売上額判断(▲7.5)、収益判断(▲8.3)は、依然として厳しい状況ながら、ともに改善の見通し。

販売価格・原材料・仕入価格の動き

～販売価格は改善、原材料(仕入)価格は大幅な悪化～

販売価格判断(DI)は4.7(前期比7.7ポイント増)と改善。原材料・仕入価格判断(DI)は29.6(同17.0ポイント増)と、大幅な悪化。

来期予想の販売価格判断(5.2)は、ほぼ横ばい。原材料・仕入価格判断(26.3)は改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

～資金繰りは改善、人手「不足」超幅は拡大～

資金繰り判断(DI)は▲0.8(前期比4.2ポイント増)と改善。

人手判断(DI)は▲8.0(同3.1ポイント減)と「不足」超幅が拡大。人手判断の内訳は、不足とする企業の割合は前期8.7%→今期10.6%と小幅増加した一方、人手過剰とする企業の割合は同3.8%→同2.6%と小幅減少したほか、適正とした企業の割合は同87.5%→同86.8%とほぼ横ばい。

来期予想の資金繰り判断(▲0.6)はほぼ横ばい、人手判断(▲8.5)もほぼ横ばいの見通し。

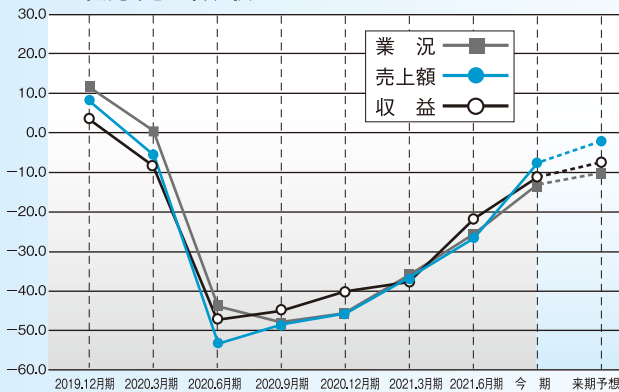
経営上の問題点

	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	売上の停滞・減少 51.0%	同業者間の競争激化 41.5%	利幅の縮小 22.0%	人手不足 20.5%	原材料高 18.0%
金属機械工業	売上の停滞・減少 78.0%	同業者間の競争激化 43.0%	人手不足 27.0%	原材料高 20.0%	利幅の縮小 14.0%
卸売業	売上の停滞・減少 55.0%	同業者間の競争激化 25.0%	人件費の増加 5.8%	輸入商品との競争激化 4.2%	取扱商品の陳腐化 4.2%
小売業	売上の停滞・減少 58.0%	同業者間の競争激化 13.3%	輸入商品との競争激化 7.3%	取引先の減少 6.7%	人件費以外の経費の増加 5.3%
サービス業	売上の停滞・減少 81.5%	同業者間の競争激化 41.5%	人手不足 24.5%	商圏人口の減少 6.5%	人件費の増加 5.5%
建設業	売上の停滞・減少 63.0%	人手不足 41.5%	同業者間の競争激化 34.0%	利幅の縮小 11.5%	材料価格の上昇 11.5%
不動産業	商品物件の不足 71.5%	同業者間の競争激化 55.4%	売上の停滞・減少 43.1%	商品物件の高騰 19.2%	利幅の縮小 16.9%

当面の重点経営施策

	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	販路を広げる 69.0%	経費を削減する 44.5%	情報力を強化する 25.5%	新製品・技術を開発する 20.0%	人材を確保する 18.0%
金属機械工業	販路を広げる 54.5%	経費を削減する 19.5%	人材を確保する 7.0%	新製品・技術を開発する 4.5%	情報力を強化する 3.5%
卸売業	品揃えを改善する 76.7%	経費を削減する 52.5%	宣伝・広告を強化する 20.0%	新しい事業を始める 19.2%	仕入先を開拓・選別する 13.3%
小売業	経費を削減する 54.0%	品揃えを充実する 35.3%	販路を広げる 33.3%	人材を確保する 16.7%	不動産の有効活用を図る 12.0%
サービス業	販路を広げる 53.0%	経費を削減する 48.5%	宣伝・広告を強化する 21.0%	人材を確保する 15.5%	新しい事業を始める 8.0%
建設業	経費を削減する 59.3%	販路を広げる 54.5%	情報力を強化する 30.7%	人材を確保する 28.7%	技術力を高める 18.7%
不動産業	情報力を強化する 53.1%	販路を広げる 37.7%	宣伝・広告を強化する 37.7%	経費を削減する 28.5%	不動産の有効活用を図る 6.2%

業況・売上額・収益



製造業 DI値の推移

	2019.12月期	2020.3月期	2020.6月期	2020.9月期	2020.12月期	2021.3月期	2021.6月期	今期	来期予想
業況	12.0	0.5	-43.0	-47.5	-45.5	-35.5	-25.0	-13.5	-10.0
売上額	8.0	-6.0	-53.5	-48.5	-45.5	-36.5	-25.5	-7.0	-2.0
受注残	7.5	-5.0	-49.5	-48.5	-45.5	-36.0	-19.5	-1.0	-3.0
収益	3.5	-8.0	-47.5	-45.0	-40.0	-37.5	-21.0	-11.0	-7.0
販売価格	3.5	-1.5	-7.0	-7.0	-5.0	-7.5	-5.0	2.5	2.5
原材料価格	13.5	9.5	3.0	1.5	1.0	1.0	11.0	31.0	24.5
在庫	2.5	1.0	-0.5	-4.0	-4.5	-5.5	-1.5	-1.5	-2.0
資金繰り	4.5	-1.0	-16.5	-8.5	-8.0	-4.5	1.5	2.5	2.5
従業員残業時間	6.5	1.0	-28.5	-27.0	-22.5	-13.5	-10.5	-2.0	-2.0
従業員人手	-24.5	-23.0	-9.5	-1.5	-5.0	-6.0	-6.5	-13.2	-14.3
設備状況	-9.0	-7.0	-6.5	-8.0	-9.5	-8.6	-8.6	-4.6	-4.1

業況について

2021年7月～9月期 ～業況は前期比11.5ポイント増の改善～

2021年7月～9月期、製造業の業況判断(DI)は▲13.5(前期比11.5ポイント増)と改善。最多納入先別にみる業況判断(DI)では、「大メーカー向け」(同▲22.0→同▲3.9)や「小売・最終需要家向け」(同▲10.0→同15.0)、「問屋・商社向け」(同▲37.5→同▲23.1)でかなり大幅改善したほか、「中小メーカー向け」(前期▲26.4→今期▲21.4)でも改善。来期予想の業況判断(▲10.0)は改善の見通し。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売・最終需要家
全体	200	26	51	103	20
良い～悪い	-27	-6	-2	-22	3
DI	-13.5	-23.1	-3.9	-21.4	15.0

売上額・収益・受注残の動き

～売上額、収益、受注残はいずれも大幅改善～

売上額判断(DI)は▲7.0(前期比18.5ポイント増)、収益判断(DI)は▲11.0(同10.0ポイント増)、受注残判断(DI)は▲1.0(同18.5ポイント増)と、いずれも大幅改善。来期予想は売上額判断(▲2.0)、収益判断(▲7.0)ともに改善の見通し、受注残判断(▲3.0)は小幅な悪化の見通し。

販売価格・原材料価格の動き

～販売価格は改善、原材料価格はかなり大幅な悪化～

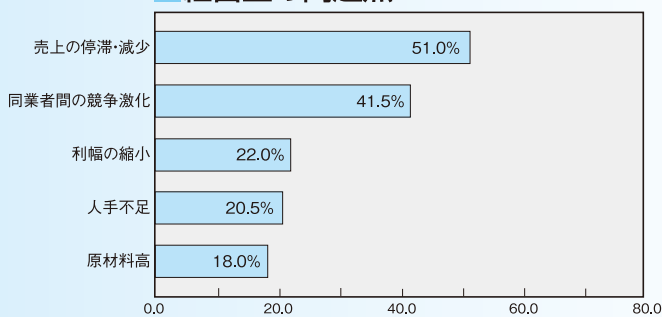
販売価格判断(DI)は2.5(前期比7.5ポイント増)と改善。一方、原材料価格判断(DI)は31.0(同20.0ポイント増)とかなり大幅な悪化。来期予想の販売価格判断(2.5)は横ばい、原材料価格判断(24.5)は、改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

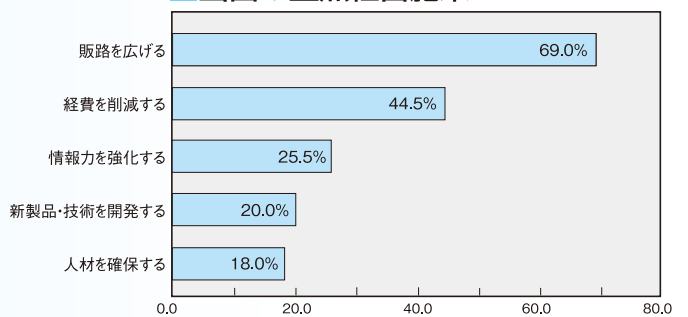
～資金繰りは小幅改善、人手「不足」超幅は拡大～

資金繰り判断(DI)は2.5(前期比1.0ポイント増)と小幅な改善。人手判断(DI)は▲13.2(同6.7ポイント減)と「不足」超幅を拡大。人手判断の内訳は、不足とした企業は前期9.5%→今期14.7%と増加した一方、人手過剰とした企業の割合は前期3.0%→今期1.5%と減少し、適正とした企業の割合は同87.5%→同83.8%と減少した。来期予想の資金繰り判断(2.5)は横ばい、人手判断(▲14.3)は「不足」超幅を小幅拡大の見通し。

経営上の問題点

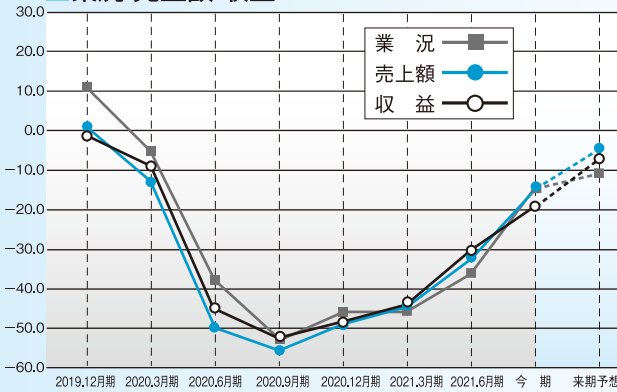


当面の重点経営施策



- ・売上・受注ともに好調。コロナの影響も特にない。(プラスチック製品製造)
- ・最近受注が戻り、コロナ禍前と同等の売上に落ち着いている。(センサー部品製造)
- ・売上は昨年より増加するも、材料費高騰の影響を受け、収益は減少している。(建築資材製造)
- ・業況はやや持ち直している。今後も徐々にではあるが、回復の兆しは見える。(建築金物・手すり)
- ・イベント関係の受注が、現在も減少している。(印刷業)
- ・今期、前期以上にコロナによる影響は受けており、売上が下がりそうとのこと。(婦人服・子供服製造)

業況・売上額・収益



金属機械工業 DI値の推移

	2019.12月期	2020.3月期	2020.6月期	2020.9月期	2020.12月期	2021.3月期	2021.6月期	今期	来期予想
業況	1.5	-5.0	-37.5	-52.5	-46.0	-46.0	-36.6	-14.2	-10.7
売上額	1.0	-12.5	-50.0	-55.0	-49.0	-44.5	-32.0	-14.3	-4.1
受注残	3.5	-9.0	-50.0	-54.5	-47.5	-46.0	-31.0	-10.2	-2.5
収益	-1.0	-9.5	-45.0	-52.5	-48.5	-44.0	-30.0	-19.3	-7.1
販売価格	2.5	1.5	-4.0	-4.5	-6.0	-8.0	-1.0	5.6	4.1
原材料価格	8.0	8.5	-1.0	2.0	-1.5	2.5	22.0	40.6	34.0
在庫	0.0	2.0	0.5	-1.0	0.5	-0.5	-2.0	-1.0	-2.0
資金繰り	3.0	-0.5	-14.0	-7.5	-8.0	-6.0	1.0	7.6	7.6
従業員残業時間	3.0	-1.5	-22.0	-29.0	-25.5	-20.0	-13.5	-8.6	-3.6
従業員人手	-19.0	-11.0	-10.0	1.0	-3.5	-6.5	-4.0	-8.1	-7.1
設備状況	-12.0	12.5	-8.0	-6.5	-6.0	-8.0	-8.0	-7.1	-7.1

業況について

2021年7月～9月期 ～業況は前期比22.4ポイント増のかなり大幅な改善～

2021年7月～9月期、金属機械工業の業況判断(DI)は▲14.2(前期比22.4ポイント増)とかなり大幅な改善。

最多納入先別の業況判断(DI)は、「中小メーカー向け」(同▲43.5→同▲17.1)、「大メーカー向け」(前期▲28.6→今期▲4.9)は、かなり大幅な改善。「問屋・商社向け」(同▲30.8→同▲18.2)は大幅改善した一方、「小売・最終需要家向け」(同▲25.0→同▲37.5)は大幅に悪化した。

来期予想の業況判断(▲10.7)は改善の見通し。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売・最終需要家
全体	197	11	61	117	8
良い～悪い	-28	-2	-3	-20	-3
DI	-14.2	-18.2	-4.9	-17.1	-37.5

売上額・収益・受注の動き

～売上額、受注残、収益はいずれも大幅改善～

売上額判断(DI)は▲14.3(前期比17.7ポイント増)、収益判断(DI)は▲19.3(同10.7ポイント増)、受注残判断(DI)は▲10.2(同20.8ポイント増)と、いずれも大幅改善。

来期予想の売上額判断(▲4.1)、受注残判断(▲2.5)、収益判断(▲7.1)は、いずれも改善の見通し。

販売価格・原材料価格の動き

～販売価格は改善、原材料価格は大幅悪化～

販売価格判断(DI)は5.6(前期比6.6ポイント増)と改善したが、原材料価格判断(DI)は40.6(同18.6ポイント増)と大幅悪化。

来期予想の販売価格判断(4.1)はやや悪化、原材料価格判断(34.0)は改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

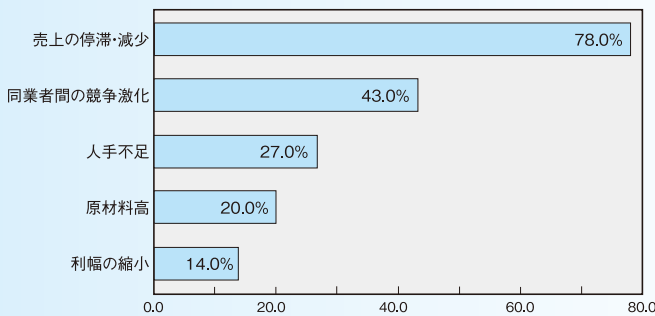
～資金繰りは改善、人手「不足」超幅は拡大～

資金繰り判断(DI)は7.6(前期比6.6ポイント増)と改善。

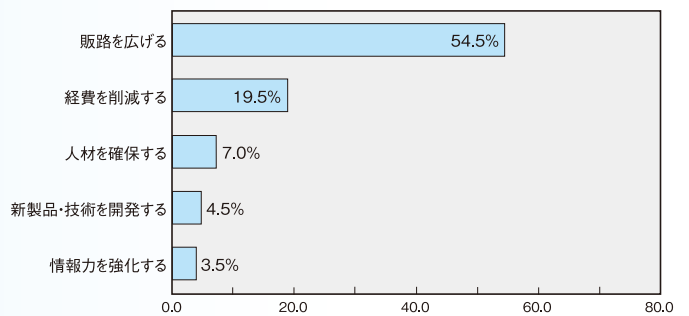
人手判断(DI)は▲8.1(同4.1ポイント減)と「不足」超幅を拡大。人手判断の内訳は、適正とした企業の割合は前期89.0%→今期88.8%とほぼ横ばいの一方、人手過剰とした企業の割合は同3.5%→同1.5%と小幅減少したほか、不足とした企業の割合は同7.5%→同9.6%と小幅な増加。

来期予想の資金繰り判断(7.6)は横ばい、人手判断(▲7.1)は「不足」超幅を小幅縮小の見通し。

経営上の問題点



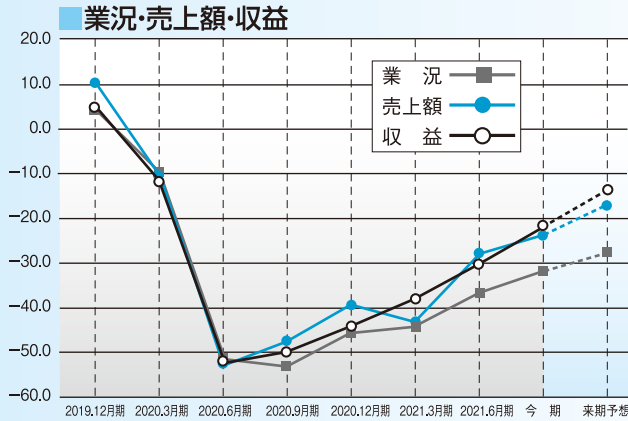
当面の重点経営施策



企業のコメント



- ・コロナウイルスの影響感せず。受注は安定しているとのこと。(金属加工)
- ・落ち込んでいた売上が徐々にではあるが回復の兆しあり。残業も徐々に増加傾向。(工業用刃物)
- ・従業員確保が難航中。売上は現状維持。(金属製品)
- ・受注は回復傾向にあるが、コロナ以前のような売上高にはなっていない。(ステンレス製造)
- ・コロナの影響により受注量減少。加えて鋼材価格高騰により利幅縮小。(精密機器)
- ・コロナの影響で受注が大幅に減少し、給付金・融資等でのいである。(金属加工)



■卸売業 DI値の推移

	2019.12月期	2020.3月期	2020.6月期	2020.9月期	2020.12月期	2021.3月期	2021.6月期	今期	来期予想
業況	4.2	-10.0	-51.7	-53.3	-45.8	-44.2	-36.6	-31.7	-27.5
売上額	10.0	-10.8	-53.3	-47.5	-39.1	-43.4	-27.5	-24.2	-16.7
収益	5.0	-11.7	-52.5	-50.0	-44.2	-37.5	-30.0	-22.7	-13.3
販売価格	5.0	-1.6	-13.3	-10.0	-13.3	-10.0	-3.4	9.2	7.5
仕入価格	6.7	2.5	-2.5	1.7	-3.3	-1.6	10.9	25.0	21.8
在庫	0.8	2.5	6.6	5.8	7.5	10.8	5.0	2.5	0.0
資金繰り	2.5	-1.7	-20.8	-12.5	-12.5	-12.5	-5.8	-9.2	-9.2
従業員残業時間	4.1	-1.7	-23.4	-27.5	-17.5	-10.8	-14.3	-7.5	-5.0
従業員人手	-10.8	-3.4	2.5	2.5	5.8	0.8	-2.5	-0.8	-2.5
設備状況	-3.4	-2.5	-2.5	0.0	1.7	1.7	1.7	-0.8	-4.2

業況について

2021年7月～9月期 ～業況は前期比4.9ポイント増の改善～

2021年7月～9月期、卸売業の業況判断(DI)は▲31.7(前期比4.9ポイント増)と改善。

最多納入先別の業況判断(DI)は、「中小メーカー向け」(前期▲42.6→今期▲22.9)は

大幅な改善「小売業者向け」(同▲46.9→同▲44.8)は小幅な改善、「問屋・商社向け」(同▲16.0→同▲20.0)は悪化、「大メーカー向け」(同▲31.3→同▲50.0)は大幅な悪化。

来期予想の業況判断(▲27.5)は改善の見通し。

◎最多納入先別の業況について(当期)

	合計	問屋・商社	大メーカー	中小メーカー	小売業者
全体	120	25	18	48	29
良い～悪い	-38	-5	-9	-11	-13
DI	-31.7	-20.0	-50.0	-22.9	-44.8

売上額・収益の動き

～売上額、収益ともに改善～

売上額判断(DI)は▲24.2(前期比3.3ポイント増)と改善、収益判断(DI)は▲22.7(同7.3ポイント増)と改善。

来期予想の売上額判断(▲16.7)、収益判断(▲13.3)は、ともに改善の見通し。

販売価格・仕入価格の動き

～販売価格は大幅な改善、仕入価格は大幅な悪化～

販売価格判断(DI)は9.2(前期比12.6ポイント増)と大幅な改善。一方、仕入価格判断(DI)は25.0(同14.1ポイント増)と大幅な悪化。

来期予想の販売価格判断(7.5)と小幅な悪化、仕入価格判断(21.8)と改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

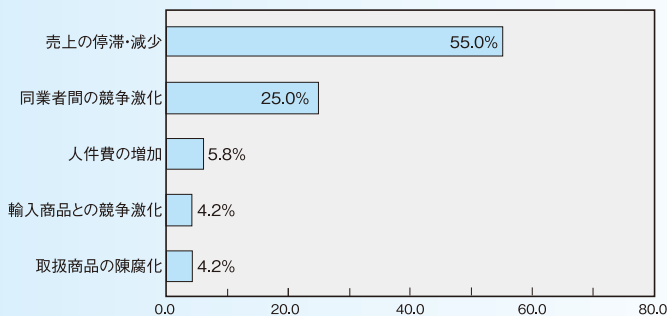
～資金繰りは悪化、人手「不足」超幅を小幅縮小～

資金繰り判断(DI)は▲9.2(前期比3.4ポイント増)と悪化。

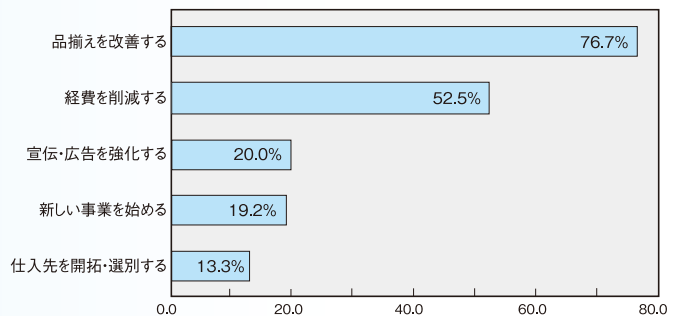
人手判断(DI)は▲0.8(同1.7ポイント増)と「不足」超幅を小幅縮小。人手判断の内訳は、適正とした企業の割合は前期92.5%→今期89.1%と減少、人手過剰とした企業の割合は同2.5%→同5.0%と増加したほか、不足とした企業の割合は同5.0%→同5.9%と小幅な増加。

来期予想の資金繰り判断(▲9.2)は横ばい、人手判断(▲2.5)は「不足」超幅が小幅拡大の見通し。

■経営上の問題点



■当面の重点経営施策

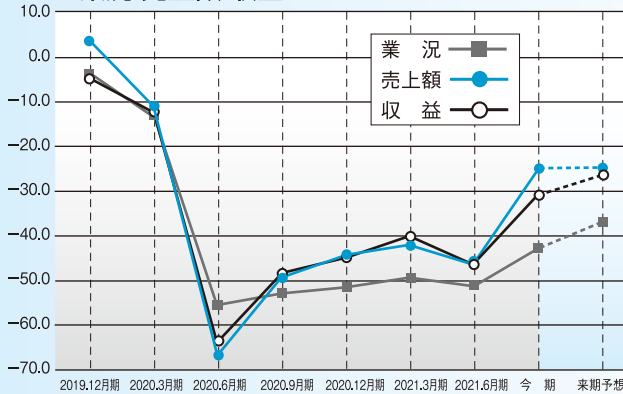


企業のコメント



- コロナの影響により衛生商品の受注は好調。(包装資材)
- コロナ禍でも売上は好調に推移している。(建築機械工具)
- コロナの影響は、あまり感じない。売上もコロナ前とあまり変わらず。(食品卸)
- 飲食店への休業依頼や外出自粛の影響を受け受注減少。(飲料卸)
- 緊急事態宣言の影響あり、催事等中止になっている。(衣料)
- 百貨店にも卸しており、コロナの影響で売上減少している。(靴)

業況・売上額・収益



小売業 DI値の推移

	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	今期	来期予想
業況	-3.4	-13.3	-55.3	-52.6	-51.4	-49.4	-51.3	-42.7	-36.7
売上額	4.7	-10.7	-66.0	-49.3	-44.0	-42.0	-46.6	-24.7	-24.7
収益	-4.7	-12.6	-64.0	-48.7	-44.6	-40.0	-46.6	-30.7	-26.0
販売価格	10.0	8.0	-6.7	-5.4	-6.7	-7.3	-6.7	-0.7	0.7
仕入価格	13.3	6.0	1.3	1.4	-2.7	-4.0	-2.0	9.3	8.7
在庫	4.7	0.0	-0.6	-2.7	-3.3	1.3	1.3	2.7	2.0
資金繰り	-7.3	-14.6	-34.7	-34.7	-26.0	-24.0	-24.0	-14.0	-14.0
従業員残業時間	2.0	-0.7	-25.3	-16.0	-14.0	-16.7	-20.0	-14.0	-13.3
従業員人手	-10.0	-11.3	2.7	3.3	1.3	2.0	3.3	-3.3	-1.3
設備状況	-3.3	-4.0	-3.4	-3.3	-4.0	-4.7	-4.7	-4.7	-4.7

◎店の立地地域別業況について(当期)

	合計	駅周辺商店街	住宅地隣接商店街	その他
全体	149	62	44	43
良い～悪い	-64	-34	-11	-19
DI	-43.0	-54.8	-25.0	-44.2

業況について

2021年7月～9月期 ～業況は前期比8.6ポイント増の改善～

2021年7月～9月期、小売業の業況判断(DI)は▲42.7(前期比8.6ポイント増)と改善。
 店舗立地地域別の業況判断(DI)は、「住宅地隣接商店街」(前期▲42.6→今期▲25.0)は大幅な改善、「その他」(前期▲53.7→今期▲44.2)は改善、「駅周辺商店街」(同▲56.5→同▲54.8)は小幅な改善。
 来期予想の業況判断(▲36.7)は改善の見通し。

売上額・収益の動き

～売上額、収益ともに大幅な改善～

売上額判断(DI)は▲24.7(前期比21.9ポイント増)、収益判断(DI)は▲30.7(同15.9ポイント増)と、ともに大幅な改善。
 来期予想の売上額判断(▲24.7)は横ばい、収益判断(▲26.0)は改善の見通し。

販売価格・仕入価格の動き

～販売価格は改善、仕入価格は大幅な悪化～

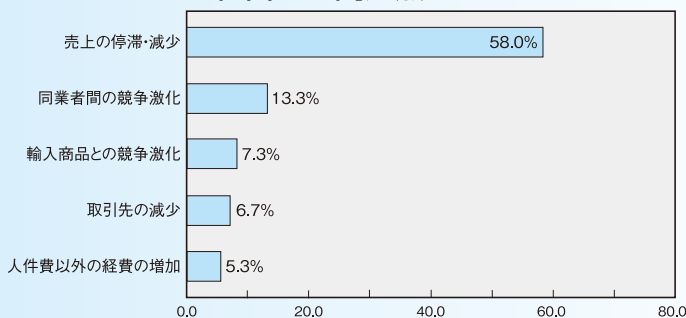
販売価格判断(DI)は▲0.7(前期比6.0ポイント増)と改善、仕入価格判断(DI)は9.3(同11.3ポイント増)と大幅な悪化。
 来期予想の販売価格判断(0.7)、仕入価格判断(8.7)ともに小幅改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

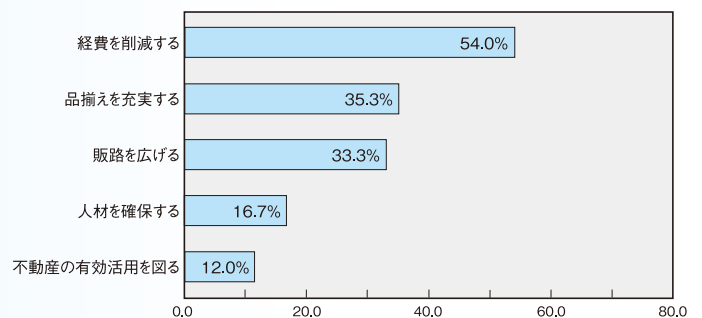
～資金繰りは改善、人手「不足」超に転化～

資金繰り判断(DI)は▲14.0(前期比10.0ポイント増)と改善。
 人手判断(DI)は▲3.3(同6.6ポイント減)と「不足」超に転化。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期6.0%→今期4.7%と小幅減少し、不足とした企業の割合は同2.7%→同8.0%と増加したほか、適正とした企業は同91.3%→同87.3%と減少。
 来期予想の資金繰り判断(▲14.0)は横ばい、人手判断(▲1.3)は「不足」超幅を小幅縮小の見通し。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

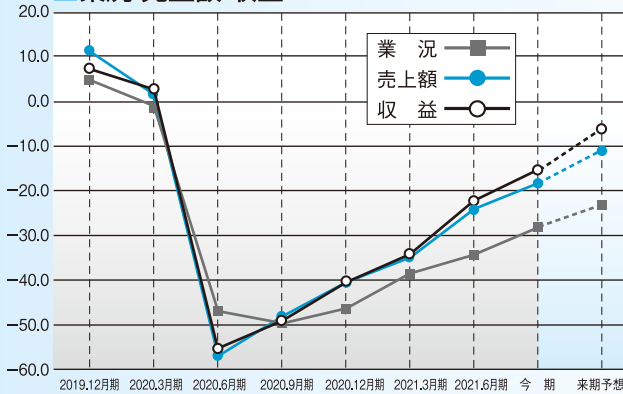


企業のコメント



- ・テレワークなどでOA機器の需要の高まりにより、売上は安定している。(OA機器)
- ・人通りが戻ってきたため、売上は回復。(コンビニエンスストア)
- ・新型コロナの影響は多少あるが、固定客も多くさほどの影響はない。(米穀店)
- ・長引くコロナの影響により、移動式販売の売上が減少。(食料品販売)
- ・新型コロナの影響は少ないが、ガソリン高騰により売上減少を懸念。(ガソリンスタンド)
- ・酒類の販売需要が緊急事態宣言で落ち込んでいる。(酒類)

■ 業況・売上額・収益



■ サービス業 DI値の推移

	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	今期	来期予想
業況	5.0	-1.5	-47.0	-50.0	-46.0	-38.5	-34.5	-27.9	-23.2
売上額	11.0	2.0	-57.0	-48.5	-40.5	-35.0	-24.0	-18.2	-10.3
収益	7.5	2.5	-56.0	-49.0	-40.5	-34.5	-22.5	-15.2	-6.6
料金価格	5.5	2.5	-6.0	-3.5	-2.5	-1.5	0.0	1.0	-0.5
材料価格	9.0	7.5	-3.5	0.5	1.0	-0.5	2.0	7.7	5.2
資金繰り	-7.0	-5.0	-30.5	-13.0	-12.0	-7.5	-10.0	-3.0	-3.0
従業員残業時間	7.5	4.0	-28.0	-18.5	-14.5	-12.5	-13.5	-9.1	-9.1
従業員人手	-20.5	-18.5	-3.0	-7.0	-9.0	-6.5	-5.5	-9.1	-10.1
設備状況	-9.5	-7.5	-3.5	-2.0	-1.5	-1.0	-1.0	-5.1	-4.5

業況について

2021年7月～9月期 ～業況は前期比6.6ポイント増の改善～

2021年7月～9月期、サービス業の業況判断(DI)は▲27.9(前期比6.6ポイント増)と改善。
来期予想の業況判断(▲23.2)は改善の見通し。

売上額・収益の動き

～売上額、収益ともに改善～

売上額判断(DI)は▲18.2(前期比5.8ポイント増)、収益判断(DI)は▲15.2(同7.3ポイント増)と、ともに改善。
来期予想の売上額判断(▲10.3)、収益判断(▲6.6)は、ともに改善の見通し。

料金価格・材料価格の動き

～料金価格は小幅改善、材料価格は悪化～

料金価格判断(DI)は1.0(前期比1.0ポイント増)と小幅改善。材料価格判断(DI)は7.7(同5.7ポイント増)と悪化。
来期予想の料金価格判断(▲0.5)は小幅悪化、材料価格判断(5.2)は改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

～資金繰りは改善、人手「不足」超幅は拡大～

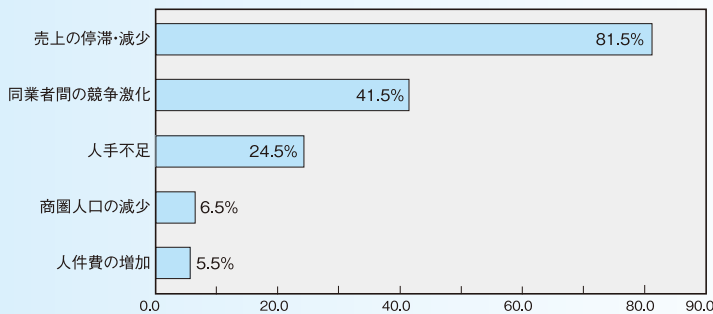
資金繰り判断(DI)は▲3.0(前期比7.0ポイント増)と改善。

人手判断(DI)は▲9.1(同3.6ポイント減)と「不足」超幅が拡大。

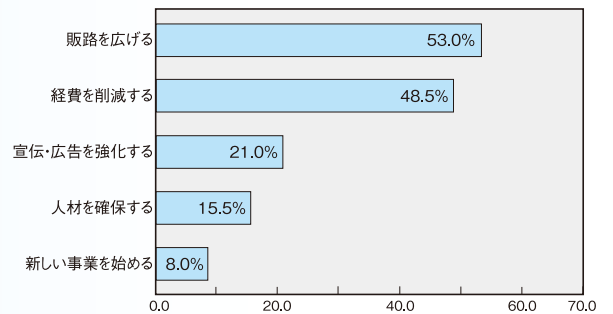
人手判断の内訳は、人手不足とした企業の割合は前期11.5%→今期12.6%と小幅増加、人手過剰とした企業の割合は同6.0%→同3.5%と小幅減少、適正とした企業の割合は同82.5%→同83.8%と小幅な増加。

来期予想の資金繰り判断(▲3.0)は横ばい、人手判断(▲10.1)は「不足」超幅を小幅拡大の見通し。

■ 経営上の問題点



■ 当面の重点経営施策

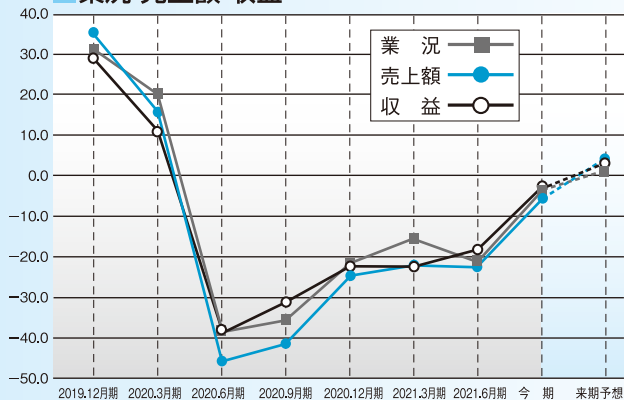


企業のコメント



- ・ 人手確保できたこともあり、売上増加。コロナの影響はあまりない。(訪問介護)
- ・ ゴルフ需要増加しており、売上増加している。(ゴルフ練習場)
- ・ コロナの影響はほとんどなく、従来通り診療できており売上変化なし。(整骨院)
- ・ コロナの影響はほぼない。業況は順調に推移。(清掃業)
- ・ 売上、利益率ともに低下。ウーバー等利用し宅配需要に応える。(飲食業)
- ・ 緊急事態宣言の影響で売上低迷が続く。(パチンコ店)

業況・売上額・収益



建設業 DI値の推移

	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	今期	来期予想
業況	31.5	20.0	-38.0	-35.5	-21.5	-15.5	-20.5	-3.6	1.0
売上額	35.5	16.0	-45.5	-41.0	-24.5	-22.0	-22.5	-4.0	4.5
受注残	31.5	17.5	-41.0	-31.5	-21.0	-21.5	-19.5	1.0	3.5
施工高	30.5	11.5	-33.5	-26.5	-22.0	-19.0	-17.5	-2.5	4.0
収益	29.0	11.0	-38.0	-31.0	-22.0	-22.0	-18.0	-3.0	3.0
請負価格	14.5	8.5	-8.5	-5.5	-5.5	-8.5	-5.5	5.1	8.6
原材料仕入価格	21.0	14.5	7.5	3.5	3.5	3.0	18.5	44.4	43.4
在庫	2.0	0.0	-8.5	-4.5	-1.5	-2.0	-3.0	-2.0	-2.5
資金繰り	6.5	-1.0	-11.0	-6.5	-4.5	-4.0	-1.5	2.5	2.5
従業員残業時間	14.5	10.5	-28.0	-17.0	-10.5	-10.5	-11.0	-6.6	-1.5
従業員人手	-39.0	-36.0	-18.2	-12.0	-20.5	-18.0	-13.0	-14.2	-16.7
設備状況	-5.0	-3.0	-3.5	-1.5	-2.0	-2.0	-2.0	-4.0	-3.5

業況について

2021年7月～9月期 ～業況は前期比16.9ポイント増の大幅な改善～

2021年7月～9月期、建設業の業況判断(DI)は▲3.6(前期比16.9ポイント増)の大幅な改善。請負先別の業況(DI)は、「大企業向け」(前期▲20.0→今期▲3.6)、「中小企業向け」(同▲29.8→同▲12.2)、「個人向け」(同▲22.2→同▲6.7)、「官公庁向け」(同3.0→同19.4)、ともに大幅な改善となった。来期予想の業況判断(1.0)は改善の見通し。

◎最多請負先別の業況について(当期)

	合計	官公庁	大企業	中小企業	個人
全体	197	36	56	90	15
良い～悪い	-7	7	-2	-11	-1
DI	-3.6	19.4	-3.6	-12.2	-6.7

売上額・収益・受注残の動き

～売上額・収益・受注残ともに大幅な改善～

売上額判断(DI)は▲4.0(前期比18.5ポイント増)、受注残判断(DI)は1.0(同20.5ポイント増)、収益判断(DI)は▲3.0(同15.0ポイント増)と、ともに大幅な改善となった。来期予想の売上額判断(4.5)、受注残判断(3.5)、収益判断(3.0)はいずれも改善の見通し。

請負価格・原材料価格の動き

～請負価格は大幅な改善、原材料価格はかなり大幅な悪化～

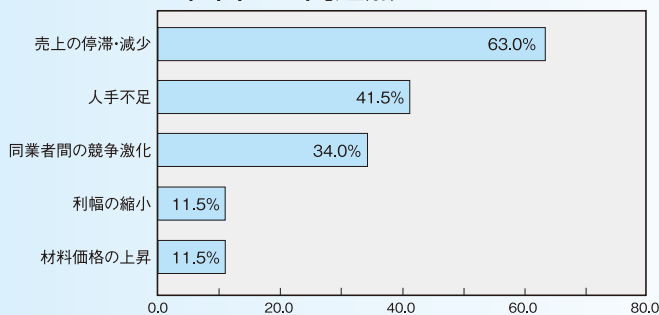
請負価格判断(DI)は5.1(前期比10.6ポイント増)と大幅な改善。一方、原材料価格判断(DI)は44.4(同25.9ポイント増)と、かなり大幅な悪化。来期予想の請負価格判断(8.6)は改善の見通し、原材料価格判断(43.4)はほぼ横ばいの見通し。

資金繰り・雇用面の動き

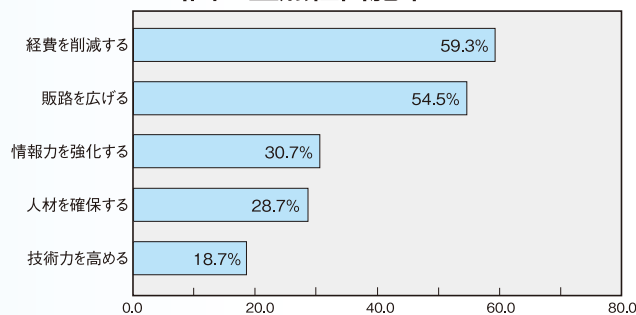
～資金繰りは改善、人手「不足」超幅は拡大～

資金繰り判断(DI)は2.5(同4.0ポイント増)と改善。人手判断(DI)は▲14.2(同1.2ポイント減)と「不足」超幅が拡大。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期3.0%→今期1.0%と小幅に減少、適正とした企業の割合は同81.0%→同83.8%と増加した。また、人手不足とした企業の割合は同16.0%→同15.2%とほぼ横ばい。来期予想の資金繰り判断(2.5)は横ばい、人手判断(▲16.7)は小幅な悪化の見通し。

経営上の問題点



当面の重点経営施策

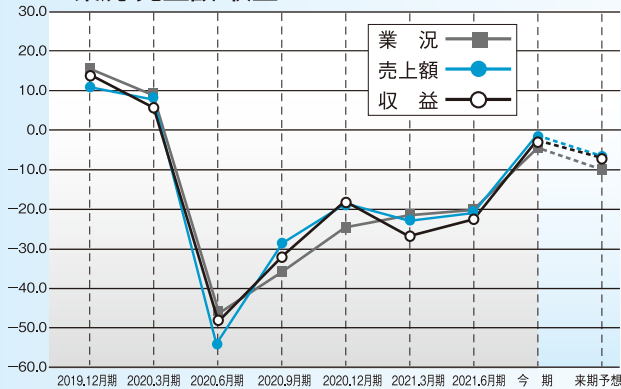


企業のコメント



- 今期も安定して受注を確保。大口受注もある。(土木工事)
- 新型コロナウイルスの影響は少なく、業況は安定している。(管工事)
- 資材の高騰があり、影響を受けている。(内装工事)
- コロナの影響により、現場が中断することもあり、売上減少傾向。(防水工事)
- 公共工事が減少傾向にあり、民間工事の割合増加。利幅縮小。(土木工事)
- コロナの影響もあり、材料価格の高騰が凄い。木材以外に鉄も高騰している。(建設工事)

業況・売上額・収益



不動産業 DI値の推移

	2019.12	2020.3	2020.6	2020.9	2020.12	2021.3	2021.6	今期	来期予想
業況	15.4	9.2	-45.3	-35.3	-23.9	-21.5	-20.0	-4.7	-10.0
売上額	10.7	7.7	-53.8	-28.5	-18.5	-23.8	-20.7	-1.5	-7.0
収益	13.8	5.3	-48.5	-31.5	-18.4	-26.9	-22.3	-2.4	-7.0
販売価格	11.5	6.1	-13.8	-10.8	-3.9	-0.7	0.0	14.1	17.7
仕入価格	29.2	16.2	-1.5	-1.6	9.2	15.4	26.2	48.8	46.9
在庫	-16.9	-18.5	-20.8	-21.6	-28.5	-26.2	-27.7	-35.4	-39.2
資金繰り	-4.7	-3.8	-17.0	-10.8	-5.3	-2.3	0.8	-4.7	-4.7
従業員残業時間	1.5	3.8	-29.2	-23.8	-17.0	-13.8	-15.4	-3.8	-1.5
従業員人手	-6.9	-10.0	0.0	-3.1	-2.3	-3.1	-1.5	-0.8	-0.8

業況について

2021年7月～9月期 ～業況は前期比15.3ポイント増の大幅な改善～

2021年7月～9月期、不動産業の業況判断(DI)は▲4.7(前期比15.3ポイント増)と大幅な改善。業種内容別業況では、「仲介管理」(前期▲20.0→今期▲6.9)、「建売」(同▲17.9→同▲2.6)、「賃貸」(同▲27.3→同▲13.0)ともに大幅な改善。来期予想の業況判断(▲10.0)は悪化の見通し。

◎業種内容別業況について(当期)

	全体	賃貸	建売	仲介管理
全体	129	23	77	29
良い～悪い	-7	-3	-2	-2
DI	-5.4	-13.0	-2.6	-6.9

売上額・収益の動き

～売上額、収益ともに大幅な改善～

売上額判断(DI)は▲1.5(前期比19.2ポイント増)、収益判断(DI)は▲2.4(同19.9ポイント増)と、ともに大幅な改善。来期予想の売上額判断(▲7.0)、収益判断(▲7.0)はともに悪化の見通し。

販売価格・仕入価格の動き

～販売価格は大幅な改善、仕入価格はかなり大幅な悪化～

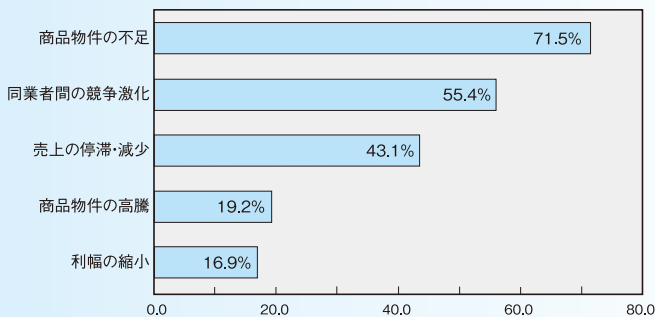
販売価格判断(DI)は14.1(前期比14.1ポイント増)と大幅な改善。一方、仕入価格判断(DI)は48.8(同22.6ポイント増)とかなり大幅な悪化。来期予想の販売価格判断(17.7)、仕入価格判断(46.9)ともに小幅改善の見通し。

資金繰り・雇用面の動き

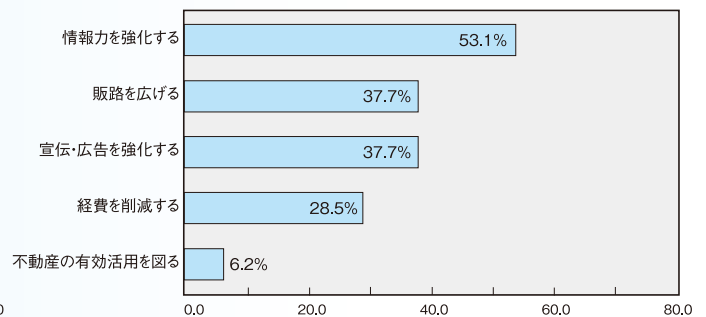
～資金繰りは悪化、人手「不足」超幅は小幅縮小～

資金繰り判断(DI)は▲4.7(同5.5ポイント減)と悪化。人手判断(DI)は▲0.8(前期比0.7ポイント増)と「不足」超幅は小幅縮小。人手判断の内訳は、人手過剰とした企業の割合は前期2.3%→今期2.3%と横ばいながら、適正とした企業の割合は同93.9%→同94.6%と小幅増加したほか、人手不足とした企業の割合は同3.8%→同3.1%と小幅縮小。来期予想の資金繰り判断(▲4.7)、人手判断(▲0.8)は、ともに横ばいの見通し。

経営上の問題点



当面の重点経営施策



企業のコメント



- ・ コロナの影響もあるが、安定した売上・利益を計上。今後事業拡大も検討。(不動産売買・賃貸)
- ・ 仕入価格変わらず上昇しており、入札などでの他社との競争が激しい。(不動産)
- ・ コロナによる影響はそれほどなく、売上は安定している。(不動産)
- ・ 今期不動産仕入良好であり、売上増加している。(不動産)
- ・ 収益物件の入居状況が改善できず、資金繰りは悪化している。(不動産賃貸業)
- ・ 商品物件の高騰により仕入難。情報収集に力を入れる。(建売不動産)

今回の北おおさか信金景気動向特別調査は「2025年大阪・関西万博に向けて」をテーマにアンケート調査を行いました。調査期間は2021年9月1日～7日。調査対象は北大阪を中心とする地元企業1200社で、有効回答は1172社（有効回答率97.6%）。

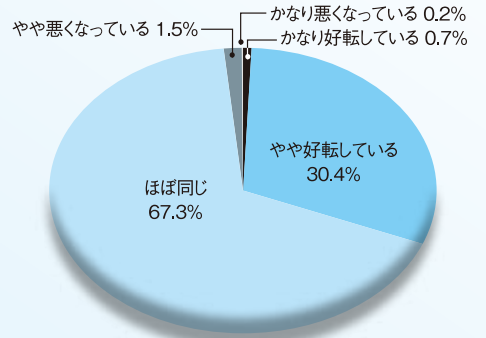


2025年、大阪・関西万博開幕時の貴社の事業の見通しは、どう予想されていますか？今と比較してご回答ください。

～「ほぼ同じ」67.3%、
「やや好転している」30.4%、
「やや悪くなっている」1.5%～

「2025年、大阪・関西万博開幕時の事業の見通し」について聞いたところ、「ほぼ同じ」と回答した企業割合は67.3%となった。「やや好転している」と回答した企業割合は30.4%となった（業種別では、卸売業が39.3%、建設業が35.9%と高く、不動産業が21.7%と低い）が、「やや悪くなっている」と回答した企業割合は1.5%と少なかった。

2025年、大阪・関西万博開幕時の貴社の事業の見通しは、どう予想されていますか



2025年、大阪・関西万博開幕時の貴社の事業の見通しは、どう予想されていますか

割合	回答	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
0.7%	かなり好転している		0.5%	1.0%	2.6%	0.7%	0.0%	0.5%	0.0%
30.4%	やや好転している		29.1%	31.4%	39.3%	26.7%	28.4%	35.9%	21.7%
67.3%	ほぼ同じ		69.4%	65.5%	56.4%	70.5%	70.1%	62.1%	76.7%
1.5%	やや悪くなっている		1.0%	2.1%	1.7%	1.4%	1.5%	1.0%	1.6%
0.2%	かなり悪くなっている		0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.5%	0.0%

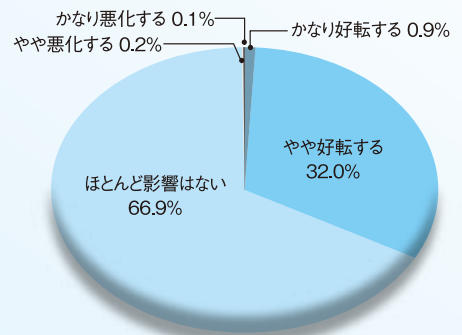


大阪・関西万博が開催されることにより、貴社の事業に与える影響はどのくらいだと思いますか？

～「ほとんど影響はない」66.9%、
「やや好転する」32.0%、
「かなり好転する」0.9%～

「大阪・関西万博が開催されることによる、事業への影響」について聞いたところ、「ほとんど影響はない」と回答した企業割合は66.9%となった。「やや好転する」と回答した企業割合は32.0%となった（業種別では卸売業（43.6%）、建設業（43.6%）で高く、不動産業（20.9%）、小売業（22.8%）で低くなった）。なお、「かなり好転する」と回答した企業割合は0.9%、「やや悪化する」と回答した企業割合は0.2%であった。

大阪万博が開催されることにより、貴社の事業に与える影響



大阪万博が開催されることにより、貴社の事業に与える影響

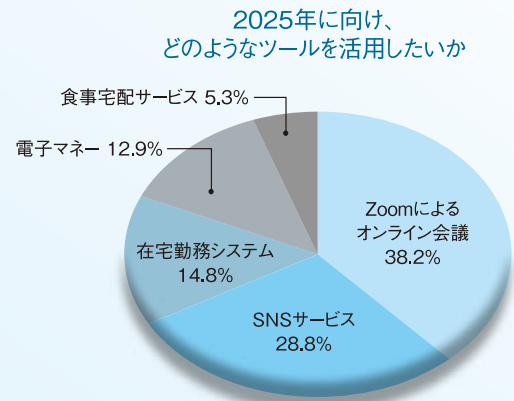
割合	回答	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
0.9%	かなり好転する		0.5%	1.0%	0.9%	2.1%	0.0%	1.0%	0.8%
32.0%	やや好転する		29.8%	34.5%	43.6%	22.8%	27.3%	43.6%	20.9%
66.9%	ほとんど影響はない		69.2%	63.9%	55.6%	75.2%	72.7%	55.4%	77.5%
0.2%	やや悪化する		0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
0.1%	かなり悪化する		0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



現在貴社では、2025年へ向けて どのようなツールを引き続き活用したいとお考えですか。

～「Zoomによるオンライン会議」38.2%、
「SNSサービス」28.8%、
「在宅勤務システム」14.8%～

2025年へ向けて引き続き活用したいツールは、
「Zoomによるオンライン会議」が38.2%と1位。
「SNSサービス」が28.8%と2位。
なお、「在宅勤務システム」が14.8%、
「電子マネー」は12.9%、
「食事宅配サービス」は5.3%にとどまった。



2025年に向け、どのようなツールを活用したいか

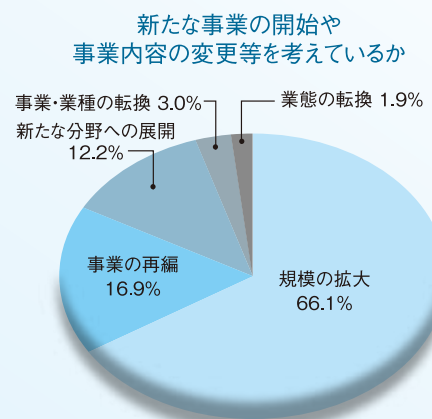
割合	回答	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
38.2%	Zoomによるオンライン会議		48.9%	51.4%	37.0%	5.7%	26.5%	54.1%	34.5%
28.8%	SNSサービス		23.4%	26.0%	26.9%	44.3%	29.2%	23.5%	32.8%
14.8%	在宅勤務システム		14.9%	8.8%	23.1%	2.1%	16.8%	16.9%	25.0%
12.9%	電子マネー		6.9%	3.9%	11.1%	37.9%	23.8%	4.4%	4.3%
5.3%	食事宅配サービス		5.9%	9.9%	1.9%	10.0%	3.8%	1.1%	3.4%



貴社では、2025年へ向けて、 新たな事業の開始や事業内容の変更等を考えていますか？

～「規模の拡大」66.1%、「事業の再編」16.9%、
「新たな分野への展開」12.2%など～

感染症の影響が長引く中、新たな事業の開始や事業内容の変更について、
考えている対策については、主に「規模の拡大」(66.1%)、「事業の再編」(16.9%)、
「新たな分野への展開」(12.2%)をあげる事業先が多かった。
なお、「事業・業種の転換」は3.0%、「業態の転換」は1.9%にとどまった。
業種別では、「規模の拡大」は建設業(76.3%)、不動産業(74.6%)で高く、
卸売業(53.2%)、小売業(59.1%)で低くなっている。
「事業の再編」は、小売業(24.1%)で高く、不動産業(11.5%)で低い。
「新たな分野への展開」は、製造業(16.3%)、卸売業(16.2%)で高く、
建設業(8.1%)、金属機械工業(8.8%)で低くなった。



新たな事業の開始や事業内容の変更等を考えているか

割合	回答	業種	製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
66.1%	規模の拡大		61.1%	70.3%	53.2%	59.1%	63.9%	76.3%	74.6%
16.9%	事業の再編		16.8%	16.5%	18.9%	24.1%	16.9%	14.5%	11.5%
12.2%	新たな分野への展開		16.3%	8.8%	16.2%	13.1%	13.7%	8.1%	9.8%
3.0%	事業・業種の転換		4.2%	2.2%	7.2%	0.7%	4.4%	0.5%	2.5%
1.9%	業態の転換		1.6%	2.2%	4.5%	2.9%	1.1%	0.5%	1.6%

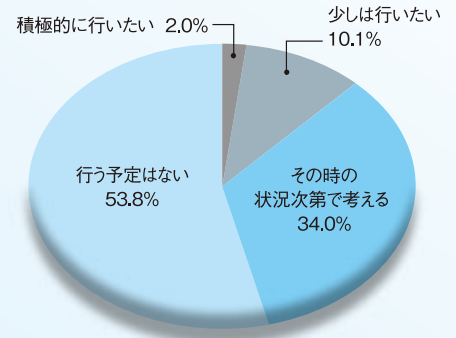


今後、インバウンド需要が戻ってきた場合に、 貴社はインバウンドに対応する事業を行う予定はありますか？

～「積極的にやりたい」2.0%、
「行う予定はない」53.8%～

今後、インバウンド需要が戻ってきた場合に、
対応する事業を行うかどうかについて聞いたところ、
「行う予定はない」が53.8%と半数を超えた。
次に、「その時の状況次第で考える」が34.0%、
「少しは行いたい」が10.1%と続いている。
なお、「積極的にやりたい」は2.0%にとどまった。

インバウンド需要が戻った時に、
それに対応した事業をするか



■インバウンド需要が戻った時に、それに対応した事業をするか

割合	回答	業種							
		製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	
2.0%	積極的にやりたい	2.5%	0.5%	3.4%	3.4%	3.1%	0.5%	1.6%	
10.1%	少しは行いたい	12.7%	7.2%	12.0%	10.3%	7.2%	11.3%	10.9%	
34.0%	その時の状況次第で考える	36.0%	26.3%	40.2%	44.5%	28.9%	31.3%	37.2%	
53.8%	行う予定はない	48.7%	66.0%	44.4%	41.8%	60.8%	56.9%	50.4%	

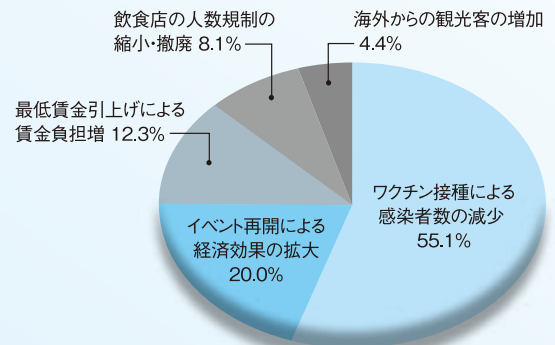


貴社は、今後数年間に考えられる以下の事象について、 どれが貴社の経営に与える影響が大きいと予測しますか？

～「ワクチン接種による感染者数の減少」55.1%、
「イベント再開による経済効果の拡大20.0%」～

今後数年間に考えられる、影響が大きい事象については、
「ワクチン接種による感染者数の減少」が55.1%と一番多く
(中でも不動産業が74.4%と多い)、次に「イベント再開による
経済効果の拡大」が20.0%と続き(製造業25.3%と多く、
不動産業は12.4%と少ない)、「最低賃金上げによる
賃金負担増」が12.3%と続いた(建設業20.7%、
金属機械工業18.7%が多く、不動産業2.3%と少ない)。
なお、「飲食店の人数規制の縮小・撤廃」は8.1%、
「海外からの観光客の増加」は4.4%にとどまった。

貴社の事業に
与える影響が大きい事柄



■貴社の事業に与える影響が大きい事柄

割合	回答	業種							
		製造業	金属機械工業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	
55.1%	ワクチン接種による感染者数の減少	49.5%	53.9%	53.8%	48.6%	58.2%	51.8%	74.4%	
20.0%	イベント再開による経済効果の拡大	25.3%	21.8%	22.2%	15.1%	19.1%	21.2%	12.4%	
12.3%	最低賃金上げによる賃金負担増	14.6%	18.7%	5.1%	6.2%	10.8%	20.7%	2.3%	
8.1%	飲食店の人数規制の縮小・撤廃	7.1%	1.6%	15.4%	23.3%	9.3%	2.1%	3.1%	
4.4%	海外からの観光客の増加	3.5%	4.1%	3.4%	6.8%	2.6%	4.1%	7.8%	

地域密着を信条とした65か店のネットワーク

店舗のごあんない

北おおさか信用金庫 店舗配置図



※地図はイメージです。

- | | | | | |
|--|---|--|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◆ 吹田市水道部出張所 ◆ 吹田市役所出張所 ◆ JR吹田駅前さんくす出張所 ◆ イズミヤ千里丘店出張所 ◆ メロード吹田出張所 ◆ フレンドマート岸辺出張所 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ イオン高槻店出張所 ◆ アクトアモレ出張所 ◆ 関西スーパー西冠店出張所 ◆ サボイ出張所 ◆ マルヤス宮田店出張所 ◆ イオン茨木ショッピングセンター出張所 ◆ イオンスタイル新茨木出張所 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 小曾根出張所 ◆ 三國商店街出張所 ◆ 神崎川駅前出張所 ◆ 毛馬出張所 ◆ イオンモール大日出張所 ◆ 大池出張所 ◆ 庄内栄町出張所 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ ららぽーとEXPOCITY店出張所 ◆ 旭丘出張所 ◆ 相川出張所 ◆ 茨木市役所出張所 ◆ 塚本駅前出張所 ◆ ビエラ岸辺健都出張所 ◆ 江口出張所 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ 江坂出張所 ◆ みのおキューズモール出張所 ◆ 上牧出張所 ◆ 香里出張所 |
|--|---|--|---|--|

営業地域(地区別) 大阪府: 大阪市、茨木市、高槻市、吹田市、豊中市、箕面市、池田市、守口市、門真市、摂津市、寝屋川市、大東市、東大阪市、枚方市、八尾市、交野市、四条畷市、堺市、松原市、三島郡、豊能郡
 兵庫県: 尼崎市、伊丹市、川西市、西宮市、宝塚市、川辺郡
 京都府: 向日市、長岡京市、乙訓郡大山崎町

発行日 2021年10月27日
 発行 北おおさか信用金庫 総合企画部
 住所 〒567-8651 茨木市西駅前町9-32
 電話 072-623-4981(代)
 ホームページ <https://www.kitaosaka-shinkin.co.jp/>
 編集 株式会社 きたしん総合研究所

